

コンクリート床・壁に発生したひび割れ、欠損箇所の補修に!

水中硬化型　エポキシ系接着剤

プラシールE-189



湿潤面対応　エポキシ系接着剤

プラシールE-130（夏用・冬用）



特　長

- 水中硬化可能（プラシールE-189のみ）
- 湿潤面接着可能
- 分かりやすい1:1配合
- パテ状のため、壁面施工や巻き付け施工が容易
- 硬化後の体積収縮がほとんどない

用　途

- コンクリート床・壁のひび割れや欠損箇所の補修
- 電路用ハンドホールと管の固定
- 継手ジョイント箇所の固定
- 水漏れ箇所の補修
- 模型製作


コンクリート壁　ひび割れの補修


コンクリート床　欠損箇所の補修


電路用ハンドホールと管の固定

NITTO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

施工手順



保護手袋着用のうえ、基剤と
硬化剤を必要容量(1：1)
取り出してください。



ねじるように練り合わせてください。



混合色がグレーになるまで
充分に練り合わせてください。



混合色がグレーになれば接着や
穴埋めをする部分に塗り付け、
硬化するまで静止してください。

基本特性

		E-189	E-130夏用	E-130冬用	試験方法
外　観		パテ状	パテ状		目視
色　調		基剤/ダークグレー、硬化剤/ホワイト	基剤/グレー、硬化剤/ブラック		目視
配 合 比		1:1	1:1		重量比
硬化物比重 ※		1.9	1.8	1.7	JIS K 7112
可使時間(300g/20℃)		60分	44分	38分	自社法/温度上昇法
硬　度(HDD) ※		87	82	88	JIS K 7215
引張りせん断接着強さ ※ (MPa)	研磨鋼板	11.0	9.3	12.9	JIS K 6850
	アルミ	6.5	4.7	6.5	
	ステンレス	10.1	7.6	11.6	
	硬質塩ビ	0.9	1.3	1.2	
	ABS	0.4	2.3	3.1	
	FRP	2.6	2.1	2.5	
水中硬化		○	—	—	自社法
湿潤面接着		○	○	○	自社法

※養生条件　20℃7日　測定温度　20℃

荷姿

●プラシールE-189
1セット/基剤250g・硬化剤250g



・10セット入/箱
・30セット入/箱



1セットパック
10パック入/箱

●プラシールE-130
1セット/基剤5kg・硬化剤5kg



夏用
※青色PPバンド



冬用
※黄色PPバンド

注意事項

- ご使用にあたっては、事前に使用目的、使用条件に適合するか否か必ずお確かめください。
  ご使用条件・環境によっては、本来の特性を発揮できない場合もございます。
- 冬期などの低温環境下では硬化しにくい場合がございます。
- 保護手袋、保護マスクを着用して作業を行ってください。
- 皮膚についた場合は速やかに拭き取り、石鹸と水で洗い流してください。
- 衣服類に付着し、硬化した場合は取り除けませんので、充分ご注意ください。
- 直射日光のあたらない涼しい場所で、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 余った場合は硬化させてから、各自治体で定められた方法に従って廃棄をおこなってください。
- 本資料の数値は測定値であり、保証値ではありません。
- その他、SDS(安全データシート)をご確認ください。

日東化成工業株式会社
大阪市阿倍野区播磨町1-24-24
TEL：06-6693-3561
FAX：06-6693-3838
プラシール
ホームページ

2023.12.11 5,000

補修用

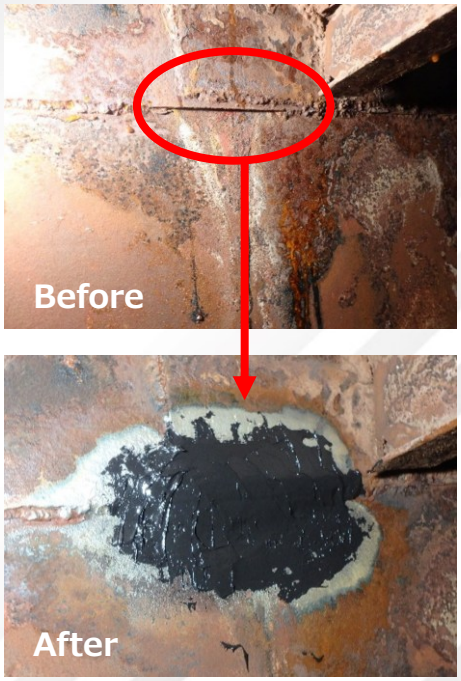
耐熱シール材

200℃雰囲気下耐久性優秀

エポキシ系接着剤

プラシール E-222





特　長

- 熱のかかる箇所の補修に使用できる
- 耐ヒートサイクル性優秀
- 工具不要で誰でも簡単に施工できる
- 垂直施工でも垂れにくい

用　途

- 配管やフランジなどの欠損箇所の補修
- アルミや鉄など金属箇所の接着、補修
- スチーム配管やタンクなどの補修

NITTO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

施工手順



グラインダーやサンドペーパー等で施工面の錆を除去してください
※２種ケレン推奨



施工面を脱脂します



基剤と硬化剤を2:1の割合で取り出します



色が均一になるまで混合してください



施工面に塗布し養生してください

基本特性

試験項目	プラシールE-222		試験方法
	基剤	硬化剤	
外　　観	黒色ペースト状	淡黄色ペースト状	目視
針 入 度	200	190	JIS K 2220 (20℃・150g・5sec)
配 合 比	2:1		重量比
可使時間(min)	68		温度上昇法(20℃・100g)
硬化物比重	2.0		JIS K 7112

引張せん断接着強さ

試験項目	測定値(MPa)	養生条件	試験方法
通常時	25.6	40℃x24hr	JIS K 6850(鋼板) 20℃
継続耐久性	20.9	200℃x28days	
ヒートサイクル	23.4	200℃x8hr⇔室温x16hr 28サイクル	

製品荷姿

1.0kgセット（基剤700g、硬化剤350g）× 6セット入/箱

注意事項

- ご使用にあたっては、事前に使用目的、使用条件に適合するか否か必ずお確かめください。
- ご使用条件・環境によっては、本来の特性を発揮できない場合もございます。
- 冬期などの低温環境下では硬化しにくい場合がございます。
- 保護手袋、保護マスクを着用して作業を行ってください。
- 皮膚についた場合は速やかに拭き取り、石鹸と水で洗い流してください。
- 衣服類に付着し、硬化した場合は取り除けませんので、充分ご注意ください。
- 直射日光のあたらない涼しい場所で、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 余った場合は硬化させてから、各自治体で定められた方法に従って廃棄をおこなってください。
- 本資料の数値は測定値であり、保証値ではありません。
- その他、SDS(安全データシート)をご確認ください。

【 取扱店 】

【 製造元 】

日東化成工業株式会社
大阪市阿倍野区播磨町1-24-24
TEL：06-6693-3561
FAX：06-6693-3838
プラシール
ホームページ

20250901　500

FRP

接着
補修
固定

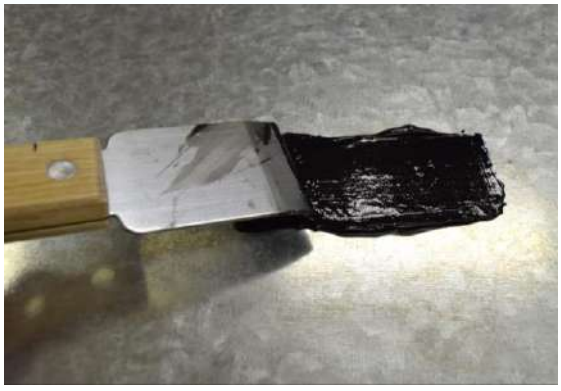


ペーストタイプ エポキシ系接着剤

プラシール E-275

特　長

- 簡単確実な等量(1:1)配合
- 混練しやすく、塗布した際に垂れにくい
- 微細な穴も埋められる流動性
- サンドペーパーで研磨可能



用　途

- FRP製品の接着・固定、欠損補修
- FRPコアのピンホール補修
- 刃物の柄付時の接着・固定

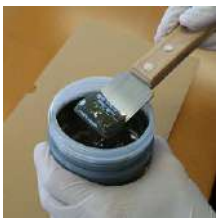


荷　姿

- 1セット/基剤4kg・硬化剤4kg
  1セット入/箱

NITTO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

施工手順



保護手袋着用のうえ、
基剤を取り出してください。



基剤と硬化剤をヘラ等で
取り出す際、必ず別々
のヘラを使用してください。



硬化剤を基剤と同じ量
取り出してください。
(配合比は1:1です)



混合色が黒色になるまで充分に練り合わせてください。





混合色が黒色になれば
接着や穴埋めをする部分に
塗り付け、硬化するまで
静止してください。

基本特性

製品名：プラシールE-275

項目		基剤	硬化剤	試験方法
外　観		灰色ペースト状	黒色ペースト状	目視
配 合 比		基剤：硬化剤　1:1		重量比
比　重		1.53	1.33	JIS K 7112 水中置換法
硬化物比重		1.46		JIS K 7112 水中置換法
可使時間(200g/20℃)		53分		自社法/温度上昇法
硬　度(HDD)		76		JIS K 7215
引張りせん断 接着強度 (MPa)	研磨鋼板	19.2		※JIS K 6850
	FRP-FRP	9.9		
	FRP-SUS	10.1		

測定条件：20℃-65%RH
※硬化条件 40℃-24hr→20℃-4hr
数値は測定値であり、保証値ではございません。

取扱い上の注意

- 作業時は保護手袋、保護メガネ等を着用してください。
- 低温環境時には硬化しにくい場合がございます。
- 本施工前に使用目的、使用条件に適合するか否か必ずお確かめください。
- 基剤と硬化剤をヘラ等で取り出す際、必ず別々のヘラを使用してください。
- 皮膚についた場合は速やかに拭き取り、石鹸と水で洗い流してください。
- 樹脂は完全に使い切るか、余った場合は産業廃棄物として産廃業者へ委託し、適切に処理をしてください。
- その他製品情報については安全データシート(SDS)をご確認ください。

日東化成工業株式会社
大阪市阿倍野区播磨町1-24-24
TEL：06-6693-3561
FAX：06-6693-3838
https://www.nitto-kasei.co.jp

透明エポキシ樹脂接着剤

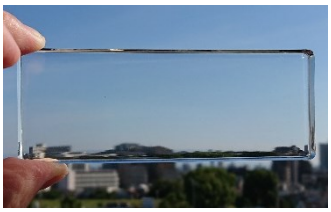
プラシール E-384



硬化発熱や経時による変色が少なく、長期間にわたり非常に高い透明性を確保できる為、意匠性を重視したい箇所のご使用に最適な製品です。

変色しにくい

	初期状態	70℃1ヶ月	屋外暴露1カ月
プラシール E-384			
従来品			





抜群の透明性

●全光線透過率(%)

試料	初期状態	70℃1カ月	屋外暴露1カ月
E-384	90	90	90
従来品	90	88	90

数値が100に近いほど透明性が高いことを示す

●黄色度(YI)

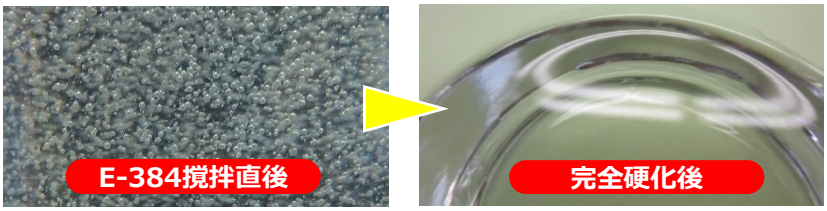
試料	初期状態	70℃1カ月	屋外暴露1カ月
E-384	-0.1	1.6	1.0
従来品	0.8	18.0	1.7

数値が高いものほど黄色度が増加したことを示す

【 試料 】硬化物の厚み…3mm／n数…3

気泡抜け優秀

脱泡作業は必要ありません。
撹拌直後は泡立ちしますが、
硬化の過程で自然と泡が
弾け、完全硬化後は泡噛みの
少ないクリアな状態に仕上がります。



人・環境に優しい

プラシールE-384は厚生労働省の定めるVOCの室内濃度指針値未満の製品です。
原材料及び製造工程においても意図的使用はございません。

●測定物質：ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、p-ジクロロベンゼン、エチルベンゼン
スチレン、テトラデカン

●試験機関：一般財団法人 ボーケン品質評価機構／試験番号：27121000493-1

基本特性

		プラシールE-384	試験方法
配合比		5:2(基剤：硬化剤)	–
粘　度 (mPa･s)	基　剤	1,456	JIS K 7117
	硬化剤	150	
比　重	基　剤	1.1	JIS B 7525 浮き比重
	硬化剤	1.0	
可使時間		132分/100g	温度上昇法
最高発熱温度		29℃/100g	–
脱型可能時間(20g)		24hr以上	–
硬化物硬度(HDD)	24hr	23	JIS K 7215
	48hr	70	
	168hr	81	

測定条件　20℃-65%RH

硬化物特性

	プラシールE-384	試験方法
比重	1.1	JIS K 7112 水中置換法
引張せん断接着強さ (MPa)	18.7	JIS K 6850 SPCC-SB

養生条件　20℃-24hr→40℃-24hr→20℃-4hr

用途

- 意匠性が求められる箇所(クリア素材等)の接着、貼り合わせ、コーティング
- 模型、アクセサリー等の製作

荷姿

①7kgセット　(基剤5kg/缶+硬化剤2kg/缶)

②50.4kgセット (基剤18kg/缶x2+硬化剤14.4kg/缶)

注意事項

- 本製品は、一度に多量の樹脂を流し込むと発熱・やけどの恐れがあるため、取り扱いには注意してください。多量に混合される場合は、低発熱タイプの「プラシールE-384LT」をご検討ください。
- 本資料の数値は測定値であり、保証値ではありません。
- ご使用にあたっては、事前に使用目的、使用条件に適合するか否か必ずお確かめください。ご使用条件・環境によっては、本来の特性を発揮できない場合もございます。
- 冬期などの低温環境下では硬化しにくい場合がございます。
- 保護手袋、保護マスクを着用して作業を行ってください。
- 皮膚についた場合は速やかに拭き取り、石鹸と水で洗い流してください。
- 衣服類に付着し、硬化した場合は取り除けませんので、充分ご注意ください。
- 直射日光のあたらない涼しい場所で、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 余った場合は硬化させてから、各自治体で定められた方法に従って廃棄をおこなってください。
- その他、SDS(安全データシート)をご確認ください。

日東化成工業株式会社
大阪市阿倍野区播磨町1-24-24
TEL：06-6693-3561
FAX：06-6693-3838
プラシール
ホームページ

20240124　1,000